

## 麻疹（ましん＝はしか）

今回は麻疹についてのお話です。  
瑞穂市で大人の方の麻疹発症があり、感染拡大が心配されている状況です。  
現在は、新たな感染拡大はなく、慎重に経過をみて、  
発熱者は医療機関で麻疹かどうかの判断をしています。



**好発年齢** 1～5歳

**臨床症状** 麻疹ウイルスはパラミクソウイルス科のウイルスです。  
麻疹ウイルスが感染するのは、ヒトとサルのみです。

ヒトとサルのみが麻疹ウイルスの増殖を許します。  
潜伏期は10～12日で、この間は無症状に経過します。  
潜伏期が過ぎると、発熱とともに咳、鼻汁、結膜充血などの  
カタル症状が現れ、2～3日続きます。



この期間をカタル期といいます。  
カタル期の終わりから、次の発疹期にかけて熱は一旦下降しますが、  
この時期に下顎臼歯付近の口腔粘膜に小さな白斑が多数生じます。  
これをコプリック斑といいます。  
コプリック斑が出現すると、翌日にはカタル期よりも高熱となり、カタル症状も  
さらに増強します。

高熱(38～40℃)と咳などの激しいカタル症状のため、食欲は減退し、下痢、  
嘔吐などの胃腸症状も現れ、耳後部から顔面・前頸部に発疹が現れます。  
発疹は紅色の不整形丘疹で、2～3日のうちに体幹から四肢の順に  
全身に拡がります。

麻疹の発疹は融合して大きな斑丘疹になることも多いです。  
発疹は1週間のうちに顔面、四肢の順に消退します。  
しばらくの間は褐色の色素沈着を残す。



**合併症** 脳炎・気管支肺炎・中耳炎が有名

〔 脳炎は麻疹患者500～2000人に1人の頻度で起こり、死亡率が高い。  
気管支肺炎と中耳炎は細菌の2次感染による 〕

**感染対策** 小児は1歳、年中のときに2回MRワクチン(麻疹風疹混合ワクチン)を  
接種します。

小児はこれでかなり安心です。  
大人の方は小児期に1回接種したか、あるいは1回も接種していない  
可能性があります。

血液検査(自費扱い)で抗体の有無を調べる事は可能です。  
抗体が無ければ、予防接種にて免疫をつける事ができます。  
麻疹に感染したと気が付いてから、72時間以内にワクチンを  
接種すれば感染防御を図る手段もあります。



## 冷えの漢方薬

しもやけ、手足が冷える、腰痛、背部痛、頭痛	(38) 当帰四逆加呉茱萸生姜湯
おなかが冷える、軟便、唾液・よだれが多い	(32) 人參湯
腰から下が冷える	(118) 苓姜朮甘湯
冷えて両脇が痛い、しびれる	(18) 桂枝加朮附湯
月経トラブルがあり、冷えてむくむ、貧血あり	(23) 当帰芍薬散
月経トラブルがあり、冷えてのぼせる、 月経前にイライラ	(24) 加味逍遙散
月経トラブルがあり、しもやけ、足腰の冷え、 口唇が乾燥、手足湿疹がある	(106) 温経湯

※まだ他にも漢方薬があります。

上記の漢方薬に、さらにもう1つの漢方薬(プシ末も含め)を  
追加して作用をパワーアップする事もできます。



## お知らせ

**岐阜市の漢方外来予定日** 2月2日(土)

14:00～17:30 場所: 中島小児科(岐阜市鍵屋東町2-1)

※この外来はすべて『院外処方』となります。

**小児夜間急病センター当番日** 2月8日(金)

19:30～22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院にて

**休診のお知らせ**

2月20日(水) 都合により休診します。よろしくお祈りします。